

西布施交流館（魚津市西布施地域活性化センター）が 竣工しました！

平成 29 年 4 月 16 日（日）、魚津市長引野の旧西布施小学校跡地におきまして西布施交流館（魚津市西布施地域活性化センター）の竣工式が開催されました。

西布施交流館は、地域の新たな交流の拠点として平成 28 年 6 月から建設が進められていたもので、小学校の統合により平成 28 年 3 月末に閉校した西布施小学校の跡地に建てられたものです。

当施設は、魚津市産材や県産材がふんだんに使用された木造平屋建てとなっており、とりわけ県内初の工法となる接着重ね梁が採用されました。

接着重ね梁は、従来から使用されている断面の小さな板を繊維方向に多数貼り合わせた「集成材」とは異なり、良質な断面の大きな材を貼り合わせるもので、接着層が少なく木の美しさや無垢材に近い質感が味わえるほか、接着剤の使用量が少ないなどの特徴があります。

竣工式には、多くのご来賓や関係者、地域住民の皆様が出席され、春爛漫の青空のもと西布施小学校跡地の記念碑の除幕式や、西布施交流館のテープカット、体育館での式典が執り行われました。

式典では村椿市長の挨拶を始め、ご来賓の祝辞、感謝状の贈呈が行われたほか、アトラクションとして地域に伝わる獅子舞や歌、踊り、太鼓などが披露されました。

この交流館の完成により、これまで以上に活気と交流が生まれることを願っています。



（西布施交流館のテープカットの様子）



(満開の枝垂れ桜を背景に西布施小学校跡地の
除幕式が行われました。)



(体育館での式典)



(県からは伍嶋農林水産部長、
飯田新川農林振興センター所長が来賓として出席)



(西布施地域交流館の命名に際して
感謝状を贈呈)



(地域に伝わる伝統芸能が披露されました。)



(完成した西布施地域交流館)



(地域産材が使用された内部の様子)